アフリカにおける地域の特性と潜在力を活かした災害対策と開発援助

国際関係学研究科　孫（そん）　暁剛（しょうがん）

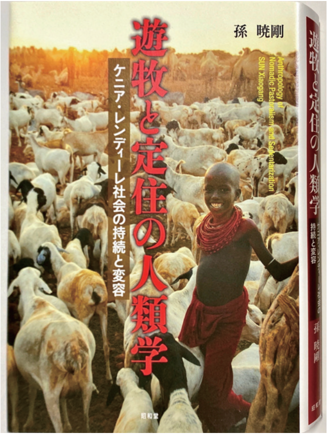
● 連　絡　先　　TEL：054-264-5322　FAX：054-264-5322

キーワード　アフリカ，気候変動，自然災害，開発援助，地域の潜在力，多様性，ケニア，遊牧民

21世紀はアフリカの世紀と言われています。アフリカの国々は今、政治の安定化、急速な経済成長、そして多様な自然環境と社会・文化を活かして発展を続けています。私は以下のテーマで研究を進めるとともに、アジアとアフリカの理解・交流・協力の促進をめざしています。

1）アフリカの乾燥・半乾燥地域に暮らす遊牧民の生業と社会・文化に関する生態人類学的研究
2）グローバルな気候変動にともなうアフリカの環境変化と自然災害の増加に対する地域社会の対応と地域間比較
3）地域の潜在力（多様な自然環境と在来の知識・技術・伝統的な対応など）と、防災科学や開発援助を融合した総合的な災害対策の構築
4）アフリカを中心とした海外学生実習の企画・運営
5）アフリカに関する文化理解や国際交流を支援するためのデジタル映像・写真ライブラリの製作

国際関係学部



小さな技術革新が大きな変化をもたらす：長年重い水タンクを背負って運んだ遊牧民の女性たちは、最近このローリング水タンクを導入して生活を劇的に改善した。

アピールポイント　地域社会のニーズを理解し、地域の潜在力を活かし、草の根レベルの支援と SDGs の実現に目指しています。